

user's voice vol.003 ワイズデンタルキュア東京 院長 三井 祐一郎先生

—CERECシステムを「セット」で導入するメリットとは—

「常に新しい情報を発信し、患者さんの関心を喚起」

「ワイズデンタルキュア東京」三井院長は、SNSや公式サイトを活用し、若年層患者のニーズに合わせた情報発信に注力しています。特に、CERECシステムを活用したメタルフリーの「即日修復」の紹介は、多くの患者の関心を集めており、結果として医院の認知向上やブランド構築にもつながっているといいます。

CEREC導入のきっかけと決め手

大学時代に「CEREC 2」と出会い、その革新性に強く惹かれたことが、私にとってCEREC導入の原点となりました。開業にあたっては、「まず最初に導入しよう」と決めていました。患者さんのチェアサイドで修復物を製作できる「院内完結型のワークフロー」に、大きな可能性を感じたからです。以来、「ブルーカム」「オムニカム」、現在の「プライムスキャン」まで、各世代の機器を継続して活用しています。特に「プライムスキャン」では、スキャンのスピードや情報量が格段に向上し、結果として患者さんの負担軽減にもつながっていると実感しています。今では歯科衛生士も一部の操作を担える体制が整い、私だけが扱う特別な機器ではなく、医院全体で共有できるシステムとして定着しています。

院内完結型であることの「差別化」効果

CERECの魅力は、スキャナー、ミリングユニット、ファーンレス、専用ソフトウェアといった機器を組み合わせ、一連の工程をすべて院内で完結できる点にあります。これにより外部ラボへの依頼が減り、治療期間の短縮はもちろん、見た目への配慮や、患者さんの身体的負担の軽減といった面でも大きな意味を持つと感じています。医院としても、スピードと品質の両立を実現できる点は大きな強みであり、結果的に他院との差別化にもつながっています。実際、来院される20～30代の患者さんの中には、「公式サイトやInstagramでCEREC治療を見た」とおっしゃる方も多く、スピード感や審美性を意識した提案に共感を持っていただけているようです。

時代の変化に合わせた選択

CERECは、治療の質・スピード・精度のバランスを追い求めながら、常に進化を続けてきたシステムです。導入当初は非常に先進的な技術でしたが、今では医院全体で活用する日常的な設備として定着しました。即日修復だけでなく、対応可能な診療シーンも着実に増えており、日々の診療における活用の幅も広がってきたと感じています。「導入して終わりではなく、使いながら診療の質を高めていく」——私にとってCERECは、医院の成長を支えてくれる大切なパートナーです。

今、選ばれる歯科医院になるために

医院のブランディング、患者さんの満足度、スタッフの育成、そして経営的な視点も含め、これからは「質」だけでなく、「スピード」や「体験価値」を含めた総合力が求められる時代だと感じています。CERECのように修復物を院内で製作できる体制は、そうした多様なニーズに応える上で、有力な選択肢のひとつになってくれると思っています。

■ 即日修復治療フロー例



●一般の名称: チェアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット 販売名: セレック プライムスキャン AC 承認番号: 30100BZX00044000 管理医療機器 特定保守管理医療機器 ●一般の名称: 歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット 販売名: セレック プライムミル 届出番号: 13B1X10236S10022 一般医療機器 ●一般の名称: 歯科技工用ポーセレン焼成炉 販売名: セレック スピードファイア 届出番号: 13B1X10236S10009 一般医療機器

製造販売元: デンツプライシロナ株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル

www.dentsplysirona.com